

# 1 はじめに

## (1) 何があったの？

みなさんがごみを種類ごとに分けて、決められた日に、決められた場所に出しているように、会社や工場から出るごみの捨て方にも決まりがあります。

その決まりを守らず、青森県と岩手県にまたがる広い野原にたくさんのごみを捨て、穴を掘って埋めたり土をかぶせたりして長い間かくしていた会社がありました。

## (2) 捨てられたごみはどうしたの？

青森県は、この会社にごみをきちんと片づけるよう命令しましたが、ごみの量が多すぎて、片づけることができませんでした。

でも、そのままにしているのは、飲み水のもとや農業用水となる川に、ごみが捨てられた場所からしみ出した汚れた水が流れ込むなどして、汚れがまわりに広がってしまいます。

そこで青森県は、暮らしや環境を守ることが何より一番大事だと考え、この会社に代わって、捨てられたごみを全部運び出して片づけることを決めました。

平成16年12月からごみを運び出しはじめて、平成25年12月に青森県側のすべてのごみを片づけ終わりました。

## (3) その場所は、これからどうなっていくの？

ごみが捨てられていた場所は、もともと豊かな自然に恵まれた土地でした。そのような美しい自然を取り戻すため、その場所に木を植えて誰でも気軽に森林に親むことができるような場所にします。

## (4) 二度とこのようなことを起こさないために

決まりを守らずにごみを捨ててしまったことで、かけがえのない自然を汚してしまいました。一度汚してしまっただけで自然を取り戻すことは、とてもむずかしいことです。

ごみを片づけたり、汚れた水をきれいにしたりするために、ぼうだいな手間と時間がかかり、このために必要なお金は、約480億円にもなります。

このできごとを通して、ごみというものについて、よく考えてみてほしいと思います。

私たちは、決してこのできごとを忘れることなく、二度とこのようなことは起こさないというメッセージをつなげていきましょう。



ごみが捨てられた場所(平成25年7月撮影)



ごみを片づけている様子